

# 中小倒産「5類」でも増

## コロナ支援終了「ゼロゼロ」返済本格化

中小企業の倒産が、コロナ下を上回るペースで増えている。新型コロナウイルスの感染症法上の分類が「5類」に移行した後も、業界によっては期待されたほど業績が戻っていないためだ。手厚い公的支援は打ち切られ、物価高が追い打ちをかける。中小企業向けの実質無利子・無担保の「ゼロゼロ融資」の返済も本格化しており、今後さらに増える可能性がある。

▼2面へ戻らなかつた客足

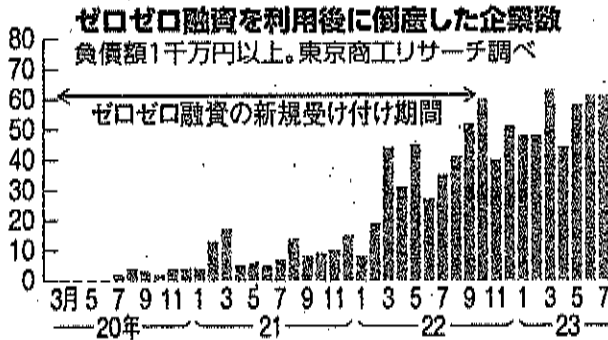
### 物価高も追い打ち

東京商工リサーチによ  
ると、5類に移行した5  
月の中小企業の倒産件数  
は704件(前年同月比

34・3%増)、ゼロゼロ

融資の返済開始がピーク  
を迎えた7月は758件

(同53・7%増)だっ



た。  
7月に倒産件数が最も  
多かつた業種は、「サー

ビス業他」で262件  
(同69・0%増)。全体  
の34・5%を占めた。そ  
のうち飲食業が71件(同  
73・1%増)と増加が目  
立った。

5類移行後、インパ  
ウ  
ンド需要の盛り上がりな  
どを受け、サービス業の  
うち宿泊業などは回復傾  
向にあるが、恩恵が行き  
届かない飲食業は厳しい  
状況が続く。

コロナ禍で経営を下支  
えしてきた時短協力金な  
どの支援策がなくなり、  
電気、ガス料金の値上げ

や物価高などの負担も重  
しになっている。

ゼロゼロ融資も返済が  
本格化し始めており、東  
京商工リサーチの担当者  
は「過剰債務に陥り、事  
業継続を断念する傾向が  
強い」と話す。

ゼロゼロ融資は、利子  
を3年間、国や都道府県  
が負担し、返済が滞った  
場合は、公的機関である  
各地の信用保証協会が  
肩代わりする手厚い仕  
組み。協会が元本を回収  
できなかった分は、実質  
的には国民の負担にな  
る。

コロナ禍で苦しむ中小  
企業の資金繰りを支え、  
倒産を防ぐ効果があつた  
一方、もともと稼ぐ力の  
ない企業の「延命」につ  
ながつた可能性も指摘さ  
れていた。コロナ関連の  
公的支援が薄くなってい  
くのに伴い、企業の実力  
そのものが試される局面  
に入る。

(谷崎 晃)